

■会長 徳久 京子 ■幹事 藤原 新一 ■会場監督 小林 大二郎
例 会 場 東京都町田市原町田3-2-9 TEL 042-724-3111(代)
〒194-0013 レンブラントホテル東京町田
事 務 局 相模原市南区相模大野3-14-10 第2足立ビル4F
〒252-0303 TEL 042-746-4108 FAX 042-746-5106

Vol.52

第2439回例会

No.3

令和4年7月19日

■会長の時間

会長 徳久 京子

本日は、第2780地区ガバナー佐藤祐一郎様をお迎えする「ガバナー公式訪問」です。ようこそ相模原南にお越しくださいました。

ガバナー公式訪問の目的は、国際ロータリー細則第16条に次のように記載されています。

1. ロータリーの重要な問題に焦点を当て関心を持たせる。
2. 弱体および問題のあるクラブに特別な関心を払う。
3. 奉仕活動への参加に対するロータリアンの意欲をかきたてる。
4. クラブの定款および細則が、組織規定を順守していることを確認する。規定審議会開催後は特にこれを行う。
5. 顕著な貢献をした地区内のロータリアンを、ガバナー自ら表彰する。

本日は、佐藤ガバナーより、RI、2780地区の方針についてお話を伺うとともに、当クラブの現状や今年度の活動計画についてご意見をいただき当クラブの活動をより良きものにする機会とあります。みなさま、活発なご意見、ご質問をお寄せくださいますようお願いいたします。

また、例年より遅くなってしまいましたが、本日クラブの予算案を配布いたしました。今年度の特徴としては赤字予算ではなく、予算の段階で収支が0となる予算を組むことにしました。

このほか、会員増強委員会とロータリー情報委員会の予算を例年より多くとり、増強対象の方の例会へのお誘い、入会歴の浅い会員へのロータリー情報の伝達を重視しています。秋頃には、当クラブの予算について、みなさんとお話をする機会を作る予定とおりますので、本日の予算書は大事に保管いただくようお願いいたします。なくしてしまいそう、という方は、レターボックスに入れておいてください。また、データで欲しいという方のために、後日、会員メーリングリストにも投稿する予定ですので、これを保管していただくようお願いいたします。

■幹事報告

幹事 藤原 新一

①今月の予定について

- 7月26日：クラブフォーラム（クラブの奉仕活動について）
- 8月 2日：慶祝・会員卓話
- 8月9・16日は休会
- 8月20日 14～16時 能ワークショップ体験（場所：松山会員のご自宅）
17時～薪能（場所：グリーンホール）

なお、薪能のチケットは40枚程度ありますのでお声がけ下さい。

8月23日夜間例会（場所：イルファボーレ）

炉辺会の開催の詳細については8月の理事役員会にて決定し、詳細をご案内いたします。

②出欠連絡について

引き続き例会開催前週木曜までに、FAX またはメールでの出欠席のご連絡をお願いします。

来月の例会予定告知と出欠回答のFAXにも、同様の記載を致しますのでご確認ください。

■ガバナー公式訪問レポート

会長 徳久 京子

幹事 藤原 新一

ガバナーの卓話は全てを文章にしたいくらい、とても素晴らしいものでした。比喩や具体例及びご自身が経験されたエピソードを交えつつ話

れ、あっという間に終わってしまった感じでした。もう終わってしまうのか、まだまだ話を聞いてみたい!という印象を皆さんも持たれたのではないのでしょうか。

ガバナーの卓話の中で、私の心に残ったお話をいくつか皆さんにお伝えします。

1 今年度のRIテーマ「イマジン・ロータリー」について
・人間は、何かをしてもらったことよりも、何を感じさせてくれたかの方が記憶に残る。
・だから、「何をするべきか」ではなく「どう感じるか」が重要である。
・「どう感じるか」を想像してほしいという意味が「イマジン・ロータリー」に込められている。

2 今年度の地区テーマ「取り戻そう」「記憶に残る年にしよう」について
・佐藤ガバナーは、RI 会長方針を聞く前に、このテーマを決めていた。
・RI 方針と違っていたらどうしようと心配していたが、ロータリアンが何をを感じるかを重視する RI 方針は、まずクラブを楽しくしようという地区方針と合致していて安心した。

3 クラブを楽しくするとは、どういうことか
・ロータリーの「仲間」は Friendship ではなく Fellowship。
・Fellowship とは、同じ方向を向いてスクラムを組んで活動したときに生まれる関係。誰か一人が何かをするのではなく、一人一人が役割を担い成果を分かち合うような関係。

4 役割を担い合うことについて
・RI会長の言葉「一人一人が配慮しあい、役割を担わせないと会員はクラブを辞めてしまう」

・「DEI (Diversity, Equity, Inclusion)」とは、それぞれ役割を与えて同じ方向に向かうこと。
・職業分類が撤廃された現在のロータリーにおける職業奉仕の意味も、地域活動、PTA 活動などで「社会に対して役割を担っている人」が行う活動が、職業奉仕と理解できるのではないかと。

付記：例会終了後の懇談会では、各会員からの硬軟入り混じる質問に対し、ガバナーがまじめにそしてジョークを織り交ぜながら回答されました。例会の卓話に負けず劣らず、楽しい懇談会になりました。

■「地区大会記念親睦ゴルフコンペ」のお知らせ

鈴木 晴澄

地区大会記念親睦ゴルフコンペの出欠とお手伝いを募集いたします。

- 開催日 2022年9月5日(月)
受付6:30～8:30 (各スタート1時間前まで)
スタート7:46～ 表彰式15:00から
- 開催場所 相模原ゴルフクラブ
- 募集人数 240名(60組)
- 参加資格 会員及びその家族限定
- 料 金 コンペ料金 5,000円/1名、プレー費 20,910円
- 申し込み 申し込み用紙に記入の上、親睦ゴルフ担当の相模原南RCまでメールまたはFAX
- 締め切り 8月3日(水)

※詳しくはゴルフ担当幹事までお知らせください。

今週の情報	本日のプログラム	クラブフォーラム
	次会のプログラム	慶祝
	近隣クラブ例会情報等	

■基金プログラム委員会より

「ロータリー奨学生募集」について

常任委員長 青木 亜也

2023-2024年度のロータリー奨学生を募集しています。

ロータリー奨学生となり、世界各国で勉学に励まれる方々に国際親善大使としての役割をになっていただき、世界理解・親善・平和に貢献できる人材、ロータリーが定める重要分野へ貢献できる人材の育成に努めています。

【応募資格】①ロータリアン、ロータリー職員、その直系親族でないこと。
②留学先の言語に堪能で、教育機関から無条件の入学許可が得られること。③2023年～2024年6月の間に就学が開始できること。

一次選考(書類選考)締め切りは10月3日です。ロータリークラブへ申請書類を提出し推薦を得てください。

詳しくは基金プログラム委員会にお問い合わせください。

【横のページ】

●7～19ページ

ロータリー創立117年にして女性初の国際ロータリー会長、ジェニファー・ジョーンズ氏のメッセージです。

この中では今年度、世界中でロータリーを推進するための計画として、「イマジン・インパクト・ツアー」について紹介されています。持続可能で大規模なロータリープロジェクトとして、その取り組みに向けた思いが語られています。

●40ページ

国際ロータリー理事会のページです。

イマジン・ロータリーというタイトルで、2022-2024年度国際ロータリー理事の佐藤芳郎理事の記事が掲載されていますが、先のジェニファー・ジョーンズ会長のテーマを「明日のロータリーを夢見て、それを実現させましょう」と解釈し、それを念頭に日本のロータリーの一層の活性化を目指した、推奨すべき具体的な取り組み方針が記載されています。

●44～45ページ

鎌倉 RC の久保田英男会員のコラムが掲載されています。

「日本の食卓」というテーマですが、食卓に関する歴史、また日本や海外の考え方が記載されています。「食卓」というものが、無意

■本日のスマイルBOX

佐藤 祐一郎 様 (ガバナー 津久井中央RC)

★久しぶりに皆様にお会いできて嬉しいです。本年度は大変お世話になっております。心から感謝申し上げます。よろしくお願ひいたします。

徳久 京子 君、藤原 新一 君

★佐藤ガバナー、ようこそいらっしゃいました。杉崎AG、よろしくお願ひします。

中村 辰雄 君、大谷 新一 郎 君

★祝！佐藤丸の船出。佐藤年度の楽しく充実した素晴らしい一年でありますよう、ご祈念いたします。健康に留意して頑張ってください。

杉崎 信一 君

★本日は第5Bグループ初のガバナー公式訪問です。一同よろしくお願ひします。

栗林 一郎 君、鈴木 昌彦 君、山田 修 君、梶田 直輝 君、黒河内 彰子 君、長瀬 徹 君、須坂 知恵 君、中村 好孝 君、奥橋 園子 君、小野田 勝宏 君、溝淵 真澄 君

★佐藤ガバナー、ようこそいらっしゃいました。本日の公式訪問、よろしくお願ひ申し上げます。

米田 博一 君

★7月、夫婦そろって誕生日。お祝いをいただきました。スマイルします。

■本日のスマイル

31,000円

■累 計

90,000円

□出席報告：出席委員会	7月19日	会員数	出席	メイクアップ	合計	出席 (%)	Zoom	欠席
前々回 第 2437 回 7月 5日	当日	48 (44)	33	0	33	75.00	-	11
	修正	48 (44)	33	2	35	79.55	-	9
第 2439 回 7月 19日	当日	48 (45)	39	0	39	86.67	-	6

7月5日(修正) 完全欠席=青木、澁谷(直)、鈴木(雅)、中村(文)、中山(智)、溝淵、宮崎、米田、若林

会報委員長 栗林 担当委員 足立 森泉 大谷 鈴木(昌) 中村(文) 若林 柏原 江尻 小川 吉田 須坂 鈴木(晴) 中山(義) 松井 米田

■職業奉仕委員会よりご報告

職業奉仕委員長 中村 辰雄

相模女子大高等部へ来年の1月から3月に実施したいと考えております。「出前授業」打ち合わせに8月2日に行ってみます。

また、講師の皆様と補助していただける会員の皆様には手助けをよろしくお願ひ致します。

例会親睦委員会の委員長から発表すべきことも知れませんが、理事役員、各委員長、地区担当になりました方は必ずロータリーの名刺を作って戴きたい。友好クラブの皆様がお越しになった際や移動例会に行った際に必要になります。週報の印刷会社で安く作っていただけます。

■本日のビジター

佐藤 祐一郎 様 (ガバナー 津久井中央RC)

杉崎 信一 様 (ガバナー補佐 相模原南RC)

担当：米田 博一

識かつ日常的にその伝統を継承しつつ、日本人の礼儀や作法、精神までも伝えるような教室のような場でもあり、家族が絆を深め、自らの心穏やかに安息できる時間と空間という括りになっています。本当に身近な話であり、何気ない日常の中で、皆さんにも何か気付きがあると思います。

【縦のページ】

●4～7ページ

青山学院大学教授・ロッキンジャー大学客員教授の福岡伸一教授が、ロータリー研究会記念講演でお話になられた要旨が掲載されています。「ポストコロナの生命哲学」というテーマです。昆虫、生物学の研究者の発信ですから、かなり専門的な難しい話ではありますが、最後に「エントロピー増大の法則」に触れられています。エントロピーとは、「乱雑さ」を意味するそうですが、人類をはじめ生命は、最後はエントロピー増大の法則に負かされてしまう、所謂、寿命という内容です。少し難しいですが、かなり興味深い内容だと思います。

●9～12ページ

「この人訪ねて」のページになります。青森ロータリークラブで初の女性会長、石川佳共子会長が紹介されています。住友生命青森支社でのセールズ時代をはじめ、これまでの奮闘と活躍が記載され、紙面からもそのパワーが感じられます。是非、ご一読ください。